



第15回 長崎大学病院 ICLSコース



平成29年6月10日(土)開催

主催:長崎シミュレーション教育研究会
共催:長崎大学病院 外来・救急医療教育室
シミュレーションセンター
救命救急センター
協力:日本光電九州株式会社

コースの目的

本コースは、初期研修医の救命医療における知識と技術の向上を目的として開催した。

ICLSとは

日本救急医学会が主催、または「コース認定」をして行う、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。心臓血管系の緊急病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。身につける行動の目標は以下の通りです。

- 蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる
- BLS(一次救命処置)に習熟する
- AED(自動体外式除細動器)を安全に操作できる
- 心停止時の4つの心電図波形を診断できる
- 除細動の適応を判断できる
- 電気ショックを安全かつ確実にこなうことができる
- 状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
- 気道が確実に確保できているかどうかを判断できる
- 状況に応じて適切な薬剤を適切な方法で投与できる
- 治療可能な心停止の原因を知り、原因検索を行動にできる

実施結果

受講生18名が当コースを修了し、ICLSアシスタントインストラクターの資格を得た。
また、スタッフ(コースディレクター2名、インストラクター9名、アシスタントインストラクター3名)計14名で指導を行い、3ブースを問題なく運営した。
また、スタッフは医師だけでなく、看護師、薬剤師、救命士、とコメディカルからの参加も多くあった。

※スタッフ詳細はP.4



<実施内容>

開催日時	平成29年6月10日(土) 9:20~17:00
受講者数	18名
対 象	初期研修医 18名
場 所	長崎大学病院 シミュレーションセンター

<スケジュール>

		グループA	グループ(B)	グループ(C)
09:00~09:20	0:20	受 付		
09:20~09:30	0:10	オリエンテーション		
09:30~10:05	0:35	BLS+AED シミュレーション室1		
10:05~10:15	0:10	休憩・移動		
10:15~11:15	1:00	モニター	気道管理	
11:15~11:25	0:10	休憩・移動		
11:25~12:25	1:00	気道管理	モニター	
12:25~13:15	0:50	昼 食		
13:15~13:20	0:05	BLS・ALSデモンストレーション		
13:20~14:30	1:10	チーム蘇生	チーム蘇生	チーム蘇生
		VF/VT	VF/VT	VF/VT
14:30~14:40	0:10	休憩・移動		
14:40~15:25	0:45	non VF/VT	non VF/VT	non VF/VT
15:25~15:40	0:15	休 憩		
15:40~16:40	1:00	メガコード	メガコード	メガコード
16:40~17:00	0:20	終了式・修了証授与式		

◆アンケート◆ 受講者の声

- ・BLSについて、より細かな所等で、気をつけるというかダメな部分が少し良くみえてきたような気がします。自信を持って動けるようになった。
- ・ハリーコールの現場に出ても、今何が起きているのか、次何をすべきか、考えることが出来るようになったと思います。ハリーコールにしっかり参加できる気がする。
- ・今までだったら、あわてふためくだけだったところを冷静に初期対応に移すことができるようになった。
- ・目の前の傷病者に対して何をすれば良いのか、落ち着いて考えて、周りの人と協力し合えるようになり、声が大きくなり、そして、あわてることが少なくなったように感じました。
- ・CPRの流れがわかって非常に良かったです。先生方もやさしく、丁寧に教えていただき、分かりやすかったです！
- ・心電図ももう一度確認しようと思った。
- ・流れの中でリーダーとしてどのように行動するかという点を理解でき、チームのみんなを信頼できるようになりました。より実践的なことを学べた。
- ・実際の当直などでは人がこんなにいない時もあり、看護師さんが指示の前に動いてくださることも多いのでいつも自分の役割のみに集中していました。久しぶりに流れを確認できたので、明日からまたCPA対応で使える知識が増えたと思います。
- ・緊急時にパツと動くのは難しいというのを実感しました。イメージトレーニングをしようと思います。
- ・心停止の原因検索を行おうとする姿勢の重要性を知ったので以後気をつけたい。鑑別を必ず行う。
- ・声を出せるようになった。できないことを自己申告するのにためらいがなくなった。
- ・救急夜勤の時に少し安心感をもって取り組めると思います。
- ・CPAの環境下では周りが切迫しているので、ゆっくり落ちついた口調で指示ができた。
- ・本を読むだけの知識から実践できる知識に変わったと思う。

◆アンケート◆

スタッフの声

1) 受講者の態度・意欲はどうだったか？

- ・まじめ。変にふざける雰囲気はなく、真摯にとりくんでいました。
- ・とても意欲的でよかったと思います。
- ・意欲はあるが、やや疲れている生徒もいた。
- ・全体的によかったと思います。
- ・研修医1年目でありgoodでした。
- ・意識が高く意欲的だった。3

2) 予備知識（予習含む）はどうだったか？

- ・一部の人で、わかってないのにわかったつもりの人がいた。
- ・教科書に目を通して来ている人が何人かいるようでした。
- ・まだ医師になって2ヶ月なので、知識のバラツキはあまり感じませんでした。
- ・知識をもっている受講生ともっていない受講生にひらきがある。2
- ・薬の投与量などよく勉強していました。
- ・予習していらっしやっただと思います。2

3) ディレクター、インストラクター、アシスタント、チューターの指導はどうだったか？

- ・良く勉強していた。質問に丁寧に答えていて聞いて勉強になった。3
- ・「伝えたい」という気持ちがあふれていました。2
- ・よく知っているいつもの先生方がおられて安心しました。2
- ・みなさん頼りになる方ばかりでした。
- ・私のサポートもして頂き、大感謝です。3
- ・good! 皆さま元気で良かったです。

4) 今後について、ひとこと

- ・次回もお願いします。2
- ・毎回、参加するだけで、いつも大変助かっています。
- ・メーリングリストがあれば入れてほしいです。
- ・更なる発展に協力していきたいと思います。
- ・また参加します。
- ・今後とも会の継続と発展を期待しています。

●改善点●

- ・モニター、除細動のコーナーで掲示するフリップが不足していました。3ブースだったからかもしれません。
- ・テーブルタップがBoxにまとめられていると助かる。

準備する資機材(3ブース)

資機材名	必要数	備考
ALSシミュレータ、操作用PC	3	
レサシアン	6	
バックバルブマスク	6	
AEDトレーナー	4	フィリップス
気道管理トレーナー	3	
モニター付き除細動器	3	単相性(予備) 1 二相性 2
気道管理ボックス	3	各ブースに1箱ずつ
注射器10ml		
バイトブロック		
吸引チューブ		
口腔エアウエイ		
経鼻エアウエイ		
聴診器		
ポケットマスク		
喉頭鏡ブレード(4.0)		
喉頭鏡柄		
チューブ固定具		
酸素マスク		
酸素カニュラ		
挿管チューブ		
スタイレット		
CO2チェッカー		
テープ		
点滴	2	各ブースに1つずつ
点滴スタンド	3	各ブースに1つずつ
ワゴン	3	
聴診器	3	
アルコール綿	多目	
ホワイトボード	4	
ホワイトボードマーカー4色	12	
ストップウォッチ	6	
メトロノーム	2	
延長コード	4	



長崎大学病院
外来・救急医療教育室
地域医療支援センター
シミュレーションセンター
〒852-8501
長崎市坂本1丁目7番1号
電話 (095) 819-7346
FAX (095) 819-7379